

自動車を修理する際に、リサイクル部品を使用するメリット



■環境に優しい:新品部品に比べて、大幅なCO₂削減につながります。

■コストパフォーマンスに優れている:部品や状態によるが、新品部品と比べて安価で、自動車ユーザーの経済的負担の軽減につながります。

リサイクル部品は、どのくらいお得なの？

部品や状態にもよりますが、新品部品と比べると概ね半値程度の価格です。

参考例:フロントドアパネル

新品参考価格→ ¥36,200

リユース部品の
参考価格
→ ¥22,000

価格メリットは
¥14,200 もお得に!



参考例:ドアミラー

新品参考価格→ ¥27,000

リユース部品の
参考価格
→ ¥16,000

価格メリットは
¥11,000 もお得に!



※出典: (一社)日本自動車リサイクル部品協議会「リユース部品利用マニュアル」 日産マーチ(平成24年式)の場合(参考価格・部品料金のみ)

リサイクル部品が環境に優しいってほんとう？

リサイクル部品の利用拡大は、最終処理場に運ばれる廃棄物量を削減するためにも有効で、環境への負担を減らすと共に、よりよい地球環境の実現に貢献します。例えば、エンジンをリユース部品で修理した場合、新たな部品を製造する過程に使用されるエネルギーの消費を抑え、CO₂排出量を約681kg削減することができます。これは、1年間でスギの木を54本程度植樹する効果と同等です。



リサイクル部品ってどうやってできるの？

1. 入庫



各地域から使用済自動車が入庫されます。多くの自動車からタイヤ・バッテリー・廃油や廃液が抜き取られ、適性処理が行われていきます。

2. 部品のチェック



再利用できるパーツを熟練したエンジニアが適確に良否を判断します。

3. フロン回収



環境に影響を与えないように回収したフロン類(エアコンガス)は破壊処理を施します。

4. エアバッグ回収



エアバッグなどは、未展開のものがあれば、強制的に電気信号で展開、作動させて安全な状態にし、作動後は有用資源(アルミなど)としてリサイクルされます。